

# 取扱説明書

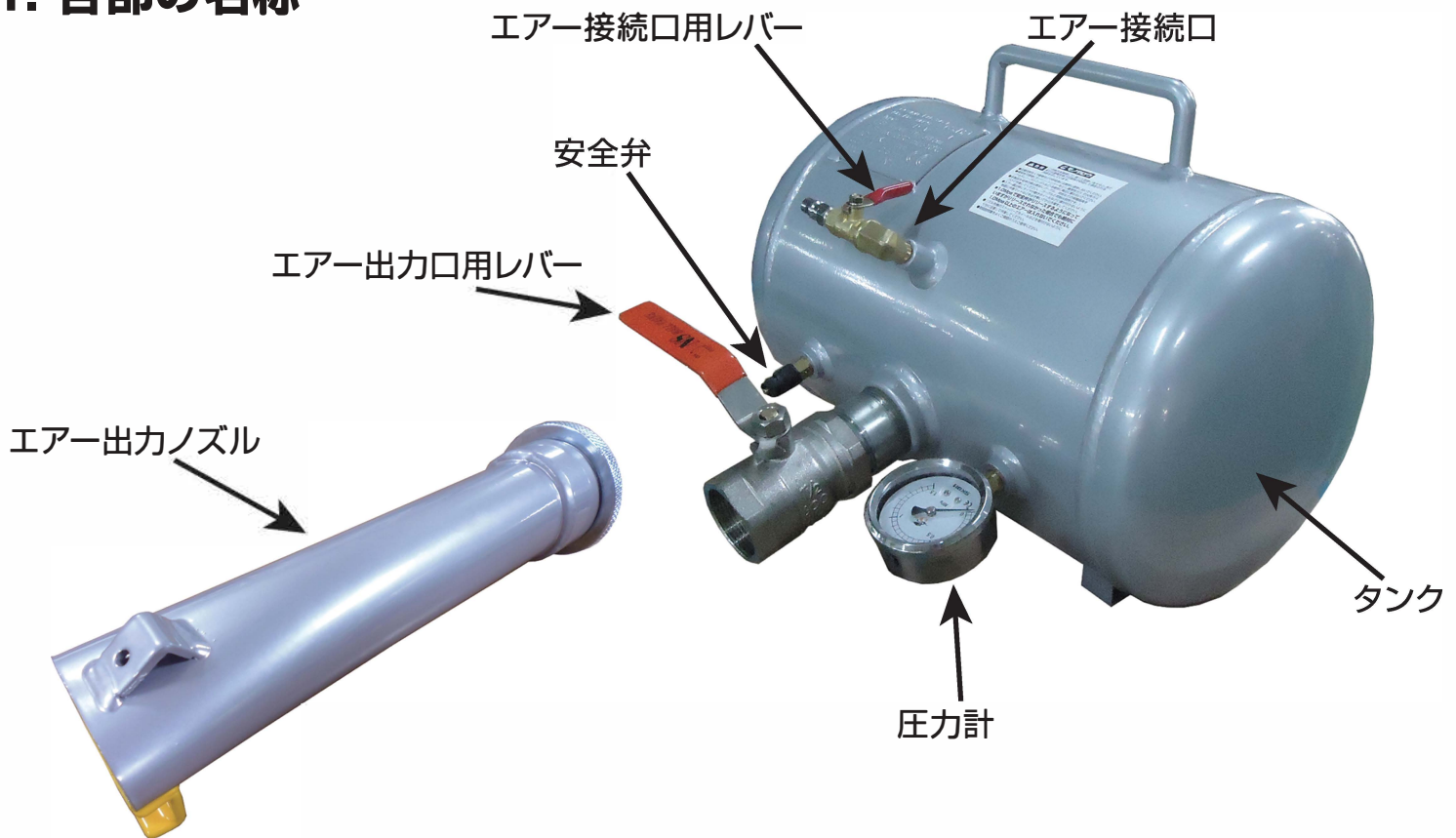


## ビードジェッター

注文コード:20152843

このたびは、ビードジェッターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

### 1. 各部の名称



### 2. 安全上の注意

- 本書は、お使いになる方がいつでも読むことができる場所に大切に保管してください。  
また使用方法が分からなくなった時などに読み返してください。
- ここで示している注意事項は、本製品を正しく安全にご使用いただくためのものです。  
本製品を使用する方はもちろん、周囲の方々や車両などへの危害・損害を未然に防止することが目的です。

### 3. ご使用の前に



#### 警告

この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- 本製品はチューブレスタイヤのビードアップに使用する目的で使用するものです。それ以外の目的では絶対に使用しないでください。
- タンクの破裂や爆発の原因になりますので、圧縮空気以外の気体を充てんしないでください。
- 圧縮空気には少量の一酸化炭素が含まれている場合がありますので、人や動物の呼吸用には絶対に使用しないでください。
- ケガや破損の原因となりますので、エア出力ノズルを人や動植物に向けしないでください。
- 周辺温度が40℃を超える場所では使用しないでください。タンクの破裂や爆発などの原因となり大変危険です。
- 揮発性可燃物(ガソリン、シンナーなど)、揮発性ガス、引火性ガス(アセチレン・プロパンガスなど)を絶対に周辺に置かないでください。
- 故障の原因になりますので、雨や水に濡れる場所での使用はしないでください。
- 破損の原因になりますので、本体に衝撃を与えたり、上面に座ったり物を載せないでください。
- 使用の際は絶対に別売のゴーグル、耳栓などの保護器具をつけて作業してください。
- エア噴出時にタイヤが動きホイールなどに傷が付かないように地面に作業マットなどを必ず敷いてから作業をしてください。
- タンク本体にへこみ、サビ、亀裂、破損や各パーツの取付け不備など異常がある場合、絶対に使用しないでください。
- ノズル先端のストッパーでホイールなどを傷付けないように十分に注意して作業してください。



#### 注意

この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

- 故障の原因となりますので、分解や改造は絶対にしないでください。
- 周囲にお子様がいる環境での使用は絶対にしないでください。

### 4. ご使用の際に



#### 警告

この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- 1.0MPa以上のエアは絶対に入れないでください。安全弁(1.0MPaで作動)が標準装備されていますが、うまく作動しない場合は絶対に使用しないでください。
- エアホースを取外す際には必ずエア接続口用レバーが閉じた状態にしてから取外してください。



#### 注意

この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

- 0.8MPaを超えたあたりから若干エアが漏れる構造になっておりますが、使用者の安全を守るための安全弁が動作したものであり、不具合ではございません。

### 5. ご使用方法

- ① 本体に、付属の各パーツをしっかりと取付けてください。
- ② エア接続口用レバーを閉じた状態でエア接続口にエアホース(ソケット)を接続してください。  
※エア漏れの原因となりますので、しっかりと接続されているか確認してください。
- ③ エア接続口用レバーを開き、エアをタンクに入れてください。このとき、タンク内の圧力値を乗用車用タイヤで0.4MPa、トラック用タイヤで0.6MPa付近にしてください。

**なお、1.0MPaで安全弁がリリースするようになっていますがリリースされなかった場合でも絶対に1.0MPa以上のエアは入れないでください。**

- ④ エアホースを取り外します。この際には必ずエア接続口用レバーが閉じた状態であることを確認してからエアホースを取外してください。
- ⑤ タイヤのビード部分にエア出力ノズルの口を当てます。このとき、地面に対して50~70度の角度で当てると高い効果が得られます。その後、エア出力口用レバーを一気に開いてください。
- ⑥ 使用後はエア接続口用レバーを開き、タンクの中にあるエアを抜いてください。